



津別町長
佐藤 多一

今年 は津別町 の節目の年

町民の皆さん、新年明けましておめでとございます。景気後退感が一段と進む中ではありますが、輝かしい新春であって欲しいと願いつつ新しい年をお迎えのことと思います。

昨年の年頭の辞において、平成20年は「この町の形を固めていくとっかかりの年」と表現いたしました。その言葉どおり、これまで幾つかの計画づくりを進めてきたところです。町なか居住と歩いて暮らせる町づくりを意識した「津別町住生活基本計画」、津別町の公共交通体系を再編成する「津別町地域公共交通総合連携計画」、住み慣れた地で安心して生活できるようにするための「第4期津別町高齢者保健福祉計画及び津別町介護保険事業計画」などであり、本年平成21年はそれらを実行に移

新年

謹賀



将来に向かって

誇りつる

まちづくりを



津別町議会議員
乃村 吉春

津別町民の皆さま、新年あけましておめでとございます。

輝かしい平成21年の新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げますとともに、日頃から町政に対する深いご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、急速に世界を覆った金融危機は、实体经济へも影響を及ぼし始め、戦後最大の経済危機を迎えたといわれており、米国の金融資本主義の崩壊ともいわれる中で、日本経済は、原油や原材料の高騰に伴う物価の上昇とともに企業の業績悪化に歯止めがかからず、皮肉にも一昨年からの大型景気の唯一の恩恵を受けていた輸出産業を主体とする地域で、今や大量解雇の渦中にあるとは誰が予想していたでしょうか。

す最初の年となります。

また、最終年を迎える「津別町バイオマスタウン構想」は、本年木質ペレット工場を建設し、当面公共施設での利用を進めながら、その後一般利用へと拡大していきたいと考えております。ひと頃の燃油上昇が収まり石油価格は下落傾向となつていますが、物事の遂行には時折我慢する時期もあるものです。愛林の町として、限りある化石燃料への依存から持続可能な自然再生エネルギーへの転換を徐々に進める確実な一歩を踏み出したいと考えております。

さて、平成21年度末で二つの法律が期限を迎えます。一つは平成12年度から平成21年度までの「過疎地域自立促進特別措置法」であり、もう一つは平成17年度から平成21年度までの「市町村の合併の特例等に関する法律（いわゆる合併新法）」です。三位一体改革の中、平成16年に地方交付税が大幅に削減され、地方の格差は広がっていきましました。こうした中、過疎地においては従来にも増して充実した新過疎法の制定が強く望まれ、今年の夏ごろまでには示されるであろうその内容に大きな期待を寄せるものです。町づくりの重点項目と優先順位は、その町によって異なることから、その町々の実情に合わせて事業が行えるよう自由度

今日の格差社会の広がりによって、疲弊した地域経済はさらに深刻度を増しており、競争原理をおおる新自由主義という思想が、若者にとって非常に生きづらい社会になつていくように思われます。

本来、人間生活の向上のために経済活動があるものであつて、まじめに働いている人が不安を感じたり損失を被るものであつてはならないものであります。グローバル社会でのこの未曾有の難局を乗り切るためには、世界規模でそれぞれの英知を結集し、実のある迅速な対応が待たれているところであります。

このような中で、平成22年4月からスタートする第5次総合計画の策定のための審議が、自主・自立まちづくり推進計画の基本理念であります。「自分たちの地域を自分たちの手で」の実現に向けて、町民の中から50人の策定委員を委嘱して開始されたことは、策定過程それ自体が自治の試みとなるものであり、今後のまちづくりに大いに期待が持てるものと思つているところであります。

さて、本町の基幹産業であります農業にあつては、一般的な雨不足や春から夏にかけての低温による作物の生育が憂慮されたところでありますが、9月以降は好天に恵まれたこともあつて農作物は順調に生育し、平年並みの豊穰の秋

の高い財源措置を望むものです。

二つ目の合併新法については、何らかの形で残るのではと耳にしています。津別町にとって重要なことは、まずはここに安心して住める町づくりが優先されるべきであり、その意志をもって、平成22年4月にスタートする第5次津別町総合計画を21年度中に策定することとしています。「町は舞台、主役は町民」を基本に、50人の審議委員の皆さんが精力的に計画作りに取り組まれています。平成21年は津別町にとって節目の年になります。

津別町には元気に活躍するいくつもの個人やグループや会社があります。昨年は、全国初のオーガニック牛乳を生産している津別町有機酪農研究会が、コブさつぼる農業賞の最高賞である北海道知事賞を受賞しました。また、津別単板協同組合が「北海道新エネルギー促進大賞」と経済産業省の「新工企大賞・経済産業大臣賞」を受賞しました。受賞の背景には先見性とたゆまぬ努力があつたことと思ひます。こうした優れた取り組みを行う町に住んでいることに、町民として誇りを持ちましょう。

結びに、皆さまにとって本年が良い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

を迎えられたことは大変喜ばしい限りであります。ただ、一昨年より導入された「品目横断的経営安定対策」は、余りにも不評であつたことから昨年「水田・畑作経営所得安定対策」に名称を改め、実態に即した必要な改善を行つたところでありますが、さらなる改善の声が高まっているところでもあります。

また、林産業におきましては、ロシアからのカラマツ丸太の輸入量が激減したため、道産カラマツの国内需要が増し、5年前の2倍にあたる145万立方メートルを超えたところでありますが、この大量伐採による山の荒廃が大いに懸念されているところでもあります。

私ども現議員の任期も、本年2月末をもって満了となり、新たに定員10名による議会体制を迎えることとなりますが、将来に向かって誇りつる津別町を築きあげていくことが議会の使命であると思つているところであります。

結びに、皆様のご健勝とご繁栄を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

